

財政状況の分析

| 区 分 | 内 容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----|-------------------|--|--|-----|-------------|--|--|-----|--------|--|--|-----|-----------|--|--|-----|--|
| 財務上の特徴 | <p>本町は熊本県の最北東部に位置し、総面積115.90km²(平成20年10月1日現在)、人口4,687人(平成17年国勢調査)で、阿蘇外輪山の北方、筑後川の源流域である。熊本・大分・福岡圏域にわたる水源地域として豊富な自然が残る農山村で、近年の観光業も盛んな町である。</p> <p>財政力指数は0.24と低く、地方交付税等への依存度が高くなっている。実質公債費比率は平成18年度決算ベースでは類似団体の平均値をやや下回っているものの、地方債残高のピークがここ数年と思われ、それに伴い上昇傾向にある。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 財政運営課題 | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="438 656 635 712">課 題</td> <td data-bbox="635 656 1442 712">定員管理の見直しによる人件費の削減</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="438 712 1442 824">人口当たりの職員数は類似団体平均値を下回っているが、指定管理者制度や民間委託などを視野に入れた定員配置を行い、さらには事務事業の見直しによる職員削減を行い、総人件費の削減に努める。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 824 635 880">課 題</td> <td data-bbox="635 824 1442 880">補助金・負担金の見直し</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="438 880 1442 992">経常収支比率の補助費等の割合は、町単独補助金の影響で類似団体平均値を上回っている。このため、各種補助金の現状を把握し、再編・整理統合・廃止を行い、経費節減に努める。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 992 635 1048">課 題</td> <td data-bbox="635 992 1442 1048">繰出金の抑制</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="438 1048 1442 1160">上水道・下水道について、今後は更なる加入率の向上を図ると共に、歳出面における維持管理経費の見直しや、歳入面においては使用料の見直しも含め、基準外繰出の縮小に努める。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1160 635 1216">課 題</td> <td data-bbox="635 1160 1442 1216">公有財産の有効活用</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="438 1216 1442 1350">本町の所有する原野(入会地)や山林等の公有財産について、関係法令・本町環境条例等に適合する範囲で、有効活用を検討する。また、狭小地や維持管理が困難な町有林については、計画的な売却処分を行うとともに、維持管理経費の縮減を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1350 635 1406">課 題</td> <td data-bbox="635 1350 1442 1406"></td> </tr> </table> | 課 題 | 定員管理の見直しによる人件費の削減 | 人口当たりの職員数は類似団体平均値を下回っているが、指定管理者制度や民間委託などを視野に入れた定員配置を行い、さらには事務事業の見直しによる職員削減を行い、総人件費の削減に努める。 | | 課 題 | 補助金・負担金の見直し | 経常収支比率の補助費等の割合は、町単独補助金の影響で類似団体平均値を上回っている。このため、各種補助金の現状を把握し、再編・整理統合・廃止を行い、経費節減に努める。 | | 課 題 | 繰出金の抑制 | 上水道・下水道について、今後は更なる加入率の向上を図ると共に、歳出面における維持管理経費の見直しや、歳入面においては使用料の見直しも含め、基準外繰出の縮小に努める。 | | 課 題 | 公有財産の有効活用 | 本町の所有する原野(入会地)や山林等の公有財産について、関係法令・本町環境条例等に適合する範囲で、有効活用を検討する。また、狭小地や維持管理が困難な町有林については、計画的な売却処分を行うとともに、維持管理経費の縮減を行う。 | | 課 題 | |
| 課 題 | 定員管理の見直しによる人件費の削減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人口当たりの職員数は類似団体平均値を下回っているが、指定管理者制度や民間委託などを視野に入れた定員配置を行い、さらには事務事業の見直しによる職員削減を行い、総人件費の削減に努める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課 題 | 補助金・負担金の見直し | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経常収支比率の補助費等の割合は、町単独補助金の影響で類似団体平均値を上回っている。このため、各種補助金の現状を把握し、再編・整理統合・廃止を行い、経費節減に努める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課 題 | 繰出金の抑制 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上水道・下水道について、今後は更なる加入率の向上を図ると共に、歳出面における維持管理経費の見直しや、歳入面においては使用料の見直しも含め、基準外繰出の縮小に努める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課 題 | 公有財産の有効活用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本町の所有する原野(入会地)や山林等の公有財産について、関係法令・本町環境条例等に適合する範囲で、有効活用を検討する。また、狭小地や維持管理が困難な町有林については、計画的な売却処分を行うとともに、維持管理経費の縮減を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課 題 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 留意事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

注1 「財務上の特徴」欄は、人口や産業構造、財政構造や地域特性等を踏まえて記載すること。また、財政指標等について、経年推移や類似団体との水準比較などをし、各自工夫の上説明すること。

2 「財政運営課題」欄は、税収入の確保、給与水準・定員管理の適正合理化、公債負担の健全化、公営企業繰出金の適正運用、地方公社・第三セクターの適正な運営等、団体が認識する財政運営上の課題及びその具体的施策について、優先度の高いものから順に記入する。また、財政運営課題と認識する理由を類似団体等との比較を交えながら具体的に説明すること。

3 「留意事項」欄は、「財政運営課題」で取り上げた項目の他に、財政運営に当たって補足すべき事項を記入すること。

4 必要に応じて行を追加して記入すること。